

1月8日（令和元年度三学期始業式）

ゴールの先にあるビジョンを描く

みなさんおはようございます。明けましておめでとう。外は風が強く荒れた天気ですが、心は晴れやかに穏やかにスタートしましょう。「笑う門には福が来る」のです。福が来るから笑うのではありません。心が明るく笑っている人の下に福や幸運はやってきます。物事をどう捉えるか、すべては自分の心の持ち様です。

いよいよ締めくくりの3学期が始まります。次の学年の準備をしてください。3年生は口加高校の制服を着るのもあと2か月を切りました。1日1日を大切に過ごしてください。2学期の終業式で中村哲さんの話をしました。人生で起こることには全て意味があるんだということです。3年生の中には看護師を目指して大学や専門学校に進学する人がいます。看護師を目指したきっかけを聞いてみると、その多くの人が小学校や中学校の時に病気や怪我をして入院した経験があり、その時の看護師さんの優しい看護に触れて自分も目指すようになったと言っています。もし入院しなければ看護師ではなく別の道を目指していたかもしれません。つまり、病気になったことや怪我をしたことにも意味があったのです。良いも悪いも自分の身に起こることは全て受け入れていくことです。

さて、毎年、お正月には実業団駅伝とか箱根駅伝とか駅伝大会があります。駅伝は1本のタスキを複数のランナーがつないでいくものですが、人生は1本のタスキを過去の自分から今の自分につないでいく、一人で走る駅伝のようなものです。つまり、今、みんなは去年の自分からタスキをもらって、令和2年を走り始めたばかりだということです。走り始めたばかりなので「今年はどういうことにチャレンジしようとか」、「今年はどう自分を変えたいとか」いろいろな目標を持って意欲に燃えている時だと思います。まず始めてください。時間が経つとだんだん熱は冷めてきます。まずは始めることです。しかし、最初は威勢よくスタートしても、三日坊主ということばがあるように、だんだん当初の勢いがなくなって、いつの間にか計画倒れになってしまうという経験はないでしょうか。

始めることよりももっと難しいのは「続ける」ことです。兵庫県出身の教育者、東井義雄さんがこういう言葉を残していらっしゃいます。

「本物は続く、続けるから、本物になる」

とは言っても、続けることほど難しいことはありません。何が難しいかということ「今日これをやろう」と思っても、「今日くらいやらなくても明日やれば大丈夫だろう」という心の囁きが聞こえてくるのが人間です。

では何故続かないのか。一つにはゴール（目標）はあってもビジョンがないからだ

とされています。

目標を立てて努力を続けている時、ゴールのイメージは描いていると思います。では、なぜそのゴールを目指しているのでしょうか。なぜそのゴールを目指しているのかということを確認に語れる人は「ビジョン」を持っている人です。「ビジョン」とは目標を達成することで創り出したい、または手にしたい状態のことです。例えば、山に登るとします。ゴールは頂上です。その頂上から見える景色こそが「ビジョン」です。テストで80点以上取りたいとか、偏差値をあと5ポイント上げたいとか、〇〇大学に合格したいというのは目標であり、「ビジョン」ではありません。例えば、ダイエットを考えている人がいるとします。「3か月で5キロ減量しよう」というのは目標です。そもそもダイエットをする目的は何で、目標を達成することでどんな状態を手にしたいのかというイメージが「ビジョン」です。

iPS細胞を開発し、2012年にノーベル医学・生理学賞を受賞した山中伸弥さんのことはみんなも知っているでしょう。アメリカで研究者としてのトレーニングを受けている時、研究所の所長さんが山中先生にこう尋ねたそうです。「あなたのビジョンは何ですか。」山中先生はこう答えます。「いい論文を書いて、いい仕事を手に入れることです。」所長さんはこう続けます。「それはビジョンじゃなくて、ゴールだよ。では、いい論文を書いて、いい仕事を手に入れたいのは何故ですか。それがビジョンです。」この瞬間、山中先生は自分が目指していたものは「いい論文を書く」という「ゴール」のみで、本当の目的である「ビジョン」はそっちのけになっていたことに気づかれたそうです。山中先生は学生時代から柔道やラグビーをやっていた経験から、脊髄損傷によって一生腰や首から下が動かなくなる人を何人も見てきたといいます。そして、当時の医学では治す方法のない患者さんを何とかして治したいという思い、それが山中先生のビジョンだったのです。iPS細胞の開発という偉業を成し遂げられたのは、このビジョンをしっかりと意識されていたからではないでしょうか。

授業、日々の課題、小テスト、模試、部活の練習・・・あなたは何のためにやっていますか？ やらないと怒られるから？ テストでいい点を取りたいから？ では何でいい点数を取りたいの？ 希望する大学や専門学校に行きたいから？ では何で大学や専門学校に行くの？ それが今やっていることの真の理由なのではないか？

もう一歩進んで考えてみましょう。あなたの目標の先にあるものは何ですか？ 目標に達することで創り上げたい世界ってどんな世界ですか？ 将来、あなたが手にしたい状態ってどんな状態ですか？ 自分が身に付けた技術や知識で他人を喜ばせている将来の自分の姿が見えますか？

心理学や脳科学でもビジョンを描くことは、そのビジョンにつながる思考、感情、行動が生まれだされて、結果を変えるために効果的だとされています。ゴールとビジ

ヨンは実は別物です。看護師になるために〇〇専門学校に行きたいというのはゴールであり、ビジョンではありません。3年生の中には消防士や自衛官、警察官になる人、自営の農業を継ぐ人や地元就職する人、大学や専門学校に進学する人もいます。進路が確定した人はゴールには到達しましたので、「なぜその道を志したのか」と自分に問うてください。その答えが「ビジョン」です。「テストでいい点数を取るため」とか「〇〇大学に合格するため」とか「いい仕事に就くため」といった目標の先にある世界を考えてみてください。「ビジョンは何か?」、「どんな世界を作り出したいか?」と問いかけてみてください。あなたの目標の先にあるもの、それがビジョンです。ビジョンを描けば、なぜ日々の課題をしなければならないのかとか、毎日叱られながらきつい思いをして部活の練習をしているのかということに不平や不満ではなく、本質的な意味を見出せるはずで、不平や不満が口をついて出てくる人は、学習や練習の先にある目標はあってもビジョンを描けていないということです。

10日後、大学入試センター試験を受ける3年生。全国の全ての受験生がこう思っています。「まだやり残したことが沢山ある、どうしよう」、「逃げて科目を克服できなかった、どうしよう。」、「もう時間がない、どうしよう。」、「不安でしょうがない、どうしよう。」焦りや不安は自分だけではありません。56万人の受験生が皆同じ心境です。人生はチャレンジの連続です。これまで積み上げてきたことを信じて堂々と挑戦してください。

笑顔溢れるいい年にしましょう。顔晴ろう口加!